

まちづくり交付金 事後評価シート  
庭瀬歴史の原風景創生地区

平成20年12月

岡山県岡山市

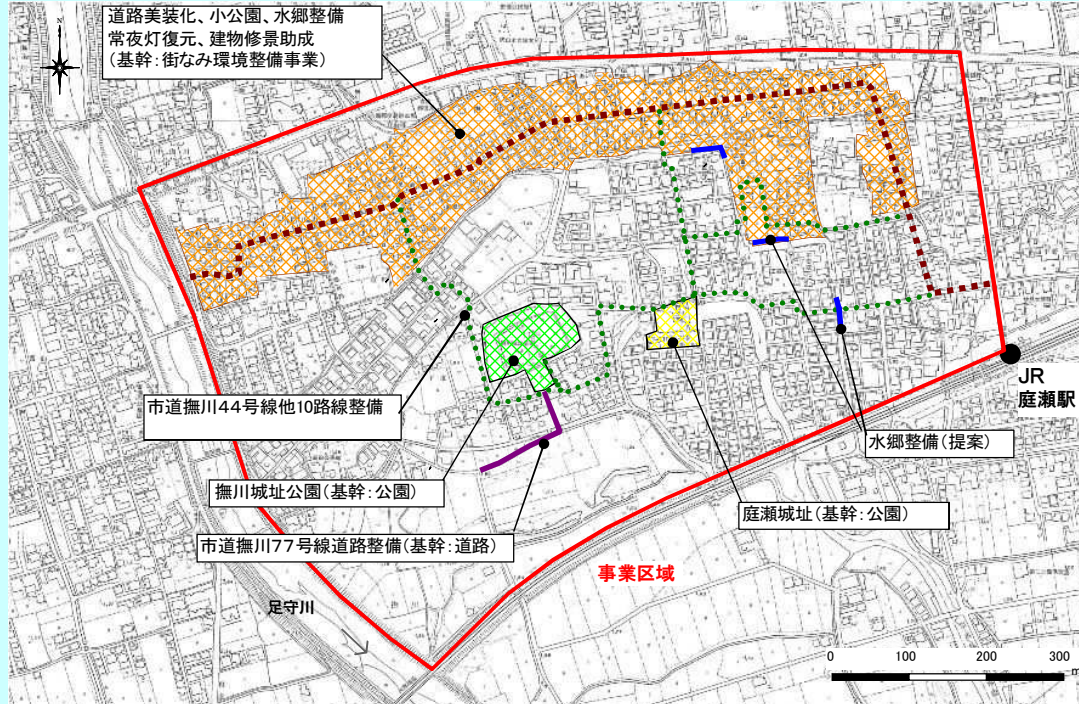
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県		市町村名	岡山市		地区名	庭瀬歴史の原風景創生地区			面積	56ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	287百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	街なみ環境整備事業(道路美装化、小公園、建物修景助成)、市道撫川75号線道路整備事業、市道撫川44号線他10路線整備事業、撫川城址公園整備事業、庭瀬城址公園整備事業									
			提案事業	街なみ整備計画策定事業									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	なし									
提案事業			地域創造支援事業(水郷整備)、事業効果分析事業		協議会での協議により整備内容の変更に伴う事業の追加(地域創造)、事業評価時に事業の効果の分析が必要になったため(事業効果)		影響なし						
交付期間の変更		当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	公園利用者数	人/12h	92	H15	200	H20	-	138	△	あり ●	全体では整備事業が完了していないため、全体の回遊性が図れておらず、目標値には至らなかった。これらを整備することで回遊性が向上し、更に利用者数増加が見込まれる。	H21年10月頃
	指標2	夜間人口	人	8,523	H15	8,700	H20	-	8,300	×	あり ●	人口は減少したが、世帯数は伸びており、地区内への定住世帯数は増えている。	H21年5月頃
	指標3	歩行者交通量	人/12h	542	H16	651	H20	-	556	△	あり ●	施工中だったが、交通量は増加していた。整備後は、更に交通量増加が見込まれる。	H22年1月頃
	指標4	景観満足度	%	31	H16	38	H20	-	54	○	あり ●	道路の修景、常夜灯の復元、住民によるイベントの開催などにより地区の魅力が高まった。	H21年9月頃
指標5									あり ●				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	「吉備・陵南まちかど博物館」への来街者数	人	4500	H17						地元住民によりイベントが開催され、年々来街者数が増え、交流人口の拡大が見られる。	H21年11月頃	
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり交付金事業を契機に地元住民により、まちおこしイベント「吉備・陵南まちかど博物館」が開催されるようになった。</li> <li>事業実施に伴い本地区に歴史の古い物が色濃く残っていることが見直され、住民の意識が高まった。また平成20年には、案内ガイドの育成や歴史資料の保存・伝承を目的とした「まちづくり研究会」が発足した。</li> <li>「吉備・撫川歴史と文化のまちづくり協議会」において地区内の道路愛称を決定した。</li> <li>地元町内会による水郷の清掃活動を行っており、以前と比べ水質がよくなったことで、川を舟で下るイベントも実施されている。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	庭瀬・撫川歴史と文化のまちづくり協議会の実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 本事業を実施するにあたり、複数ある団体を1つにした協議会を設立した。本事業を契機に地元主導によるイベントも実施されるようになった。						
持続的なまちづくり体制の構築	吉備・陵南まちかど博物館実行委員会、吉備まちづくり研究会	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地元住民が主体的に活動しており、市は後方支援に徹する。							

## 様式2-2 地区の概要

### 庭瀬歴史の原風景創生地区(岡山県岡山市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標:いつまでも心に残る「おかやまの原風景」を守り育てる中で、本地区では、「歴史の原風景」を創出し、陣屋町の再生と地域の活性化を図る。 目標1 歴史的な資源を活かして景観を中心としたまちづくりにより、交流及び定住促進させる。 目標2 道路の整備により、交通アクセス性の改善と歩行者の回遊性の向上を図る。	公園利用者数	単位:人/12h	92 H15	200 H20	138 H20
	夜間人口	単位:人	8,523 H15	8,700 H20	8,300 H20
	歩行者交通量	単位:人/12h	542 H16	651 H20	556 H20
	景観満足度	単位:%	31 H16	38 H20	54 H20
	「吉備・陵南まちかど博物館」への来街者数	単位:人	4,500 H17		13,000 H19



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年から住民主体のまちおこしイベントとして「吉備・陵南まちかど博物館」が実施されている。</li> <li>案内ガイドの育成や歴史資料の保存・伝承を目的として「吉備まちづくり研究会」が設立された。</li> <li>地区の歴史的・文化的な遺産と、景観整備された道路、常夜灯の再現整備などにより、地区の特性が強調され、陣屋町の個性化が促進され、来街者数が増加している。</li> <li>撫川城址に近接した狭小幅員の道路拡幅整備により、地区内へのアクセス性が改善された。</li> <li>イベントを契機に地区の交流人口は増加したが、夜間人口の減少傾向に歯止めがかからなかった。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>庭瀬歴史の原風景創生地区は、従前に比較するとまちづくりは大きく進展した。地区の賑わい・活性化の取り組みは、住民が主体的に活動しており、今後は行政がそのサポートを行う。</li> <li>地区内の賑わいを持続するには、住民主体のイベント「吉備・陵南まちかど博物館」の実施、観光案内ボランティアの育成、地元住民によって作成された周遊マップの活用などが必要である。</li> <li>地域住民により策定されたまちづくり協定を遵守し、歴史的景観の保存・活用が必要である。</li> <li>人口の減少に歯止めをかけるため、下水道整備などによる地区の住環境の改善と、まちおこしイベントを通して多くの人に本地区の魅力を発信していくことが必要である。</li> </ul>